

場所	分類
原子炉建屋内 RB	1 時間
タービン建屋内 TB	2 距離
R ZONE R	3 遮へい
Y ZONE Y	4 線源の除去
G ZONE G	5 遠隔、ロボット化
その他 () Z	6 汚染拡大防止
	7 その他

R 4

被ばく低減対策好事例集

番号 29-19-01

内 容	防水塗装作業前にガレキ撤去を実施		
作業部位	1/2号機タービン建屋屋上		
概 略	タービン建屋屋上の防水塗装を行うにあたり、ガレキ撤去を最初に行つた。		
評価 (定性・定量)	効果	対策前	対策後
		被ばく線量(mSv)	--
		人工数(人日)	--

事例詳細

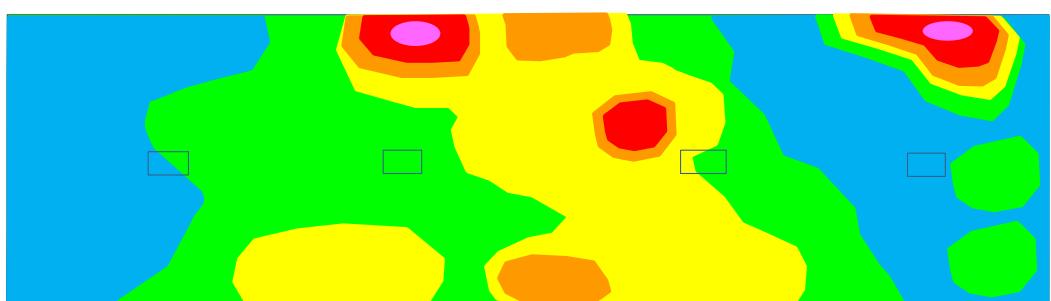
対策前 タービン建屋屋上は、ガレキが散乱し作業場所の線量率が高かった。

対策内容 ガレキ撤去作業を最初に実施し、全体の線量率を低下させてから他の作業を行うようにした。

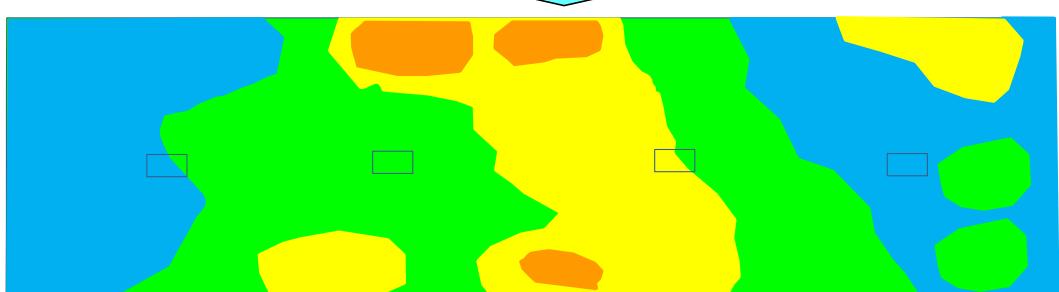
ガレキ撤去前後のエリア線量率

1号機T/B屋上

ガレキ撤去前



ガレキ撤去後



0.5 1.0 1.5 2.0 2.5 3.0 15.0 mSv/h